



講師 テーマ

社会保険労務士
笠木友美氏

「林業における柔軟な働き方と雇用管理改善の実現に向けて」

林業事業体の雇用管理改善を進め、林業への就職・職場定着を促進し、林業労働者の育成・確保を図るため、新潟県内の林業事業体の雇用管理者・担当者を対象としたセミナーが開催されました。今年度は、林業における柔軟な働き方と雇用管理改善の実現に向けてがテーマ。このセミナーで出た主な話を誌上再現します。

なかった」。この理由が全体の25％、37％を占めます。労働者が働く上で重要と考えるのは職場の人間関係やコミュニケーションの円滑化。特に若い世代は労働時間の短縮や働き方の柔軟化を重視する傾向が強まっています。

柔軟な働き方を支える労働時間・休日・休暇制度

労働時間を管理するためには、まず自社の「所定労働時間」を明確に設定する必要があります。労働時間は、実作業だけでなく準備や待機の時間も含まれる場合があります。原則は1分単位で計算します。また、2025年10月に新潟県の最低賃金は時給1,050円に改定されました。自社の賃金が基準を下回っていないかを確認しましょう。また、労働者が6カ月間継続勤務し、全労働日の8割以上勤務した場合は、

「年次有給休暇」の付与が義務となります。2019年の働き方改革により、事業主は年10日以上の有給を付与する労働者に対し、年5日以上年休取得を確実に取得させなければなりません。未実施の場合は罰則が適用されます。

1年単位の変形労働時間制を導入するためには

林業のように年間で業務量に変動がある業種には「1年単位の変形労働時間制」が適しています。この制度は1カ月から1年以内の期間を平均して、週の労働時間が40時間以内となるよう



に業務の繁閑に応じた労働時間を調整することができます。

導入するには以下の事項を労使協定で定め、労働基準監督署への届出が必要です。①労働対象者の範囲 ②対象期間及び起算日 ③特定期間 ④労働日及び労働日ごとの労働時間 ⑤協定の有効期間。もし1年ごとに運用するのであれば毎年、届出を行う必要があります。

主な限度は次の通りです。対象期間における労働日数の限度(対象期間が3か月を超える場合に限る)は1年当



林業事業体における労働環境の現状と課題

林業の就業者数は減少傾向ですが、若い世代の就業者割合は増加しています。高齢化が進んでいる中で、十分な労働力を確保するためには新規就労の促進と定着支援が必要です。県内の林業の有効求人倍率を見ると2023年では全産業の1.4倍に対し、林業は2.3倍と高い倍率が続いています。経験者の離職理由として最も多く挙げられる理由は「賃金以外の労働条件が良く

たり280日(休日は85日)。対象期間における1日の労働時間の限度は最大10時間、1週間の労働時間は最大52時間です。対象期間を平均して1週間の労働時間が40時間以内となるよう各日・各週の所定労働時間を定めます。連続労働日数は原則として6日までですが、「特定期間」を設ければ、1週間に1日の休日が確保できる最長12日にすることが可能です。

熱中症対策の義務化

2025年6月1日の労働安全衛生規則の改正により、職場における熱中症対策が強化されました。WBGT値(熱中症の危険度を示す指標)が28度以上、または気温が31度以上の環境で連続1時間以上、または1日4時間以上作業を行う場合は、事業者の巡回などによる健康状態の把握や熱中症になった際の応急処置の手順作成・周知が義務づけられました。熱中症は労災につながる重大なリスクです。作業者の熱中症が安全配慮義務違反とならないように、現場での徹底した安全対策が重要となります。



例年、セミナー参加事業体からの「雇用管理に関する個別相談」にセミナー講師が専門家としてお答えする「雇用管理改善相談会」をセミナー終了後に開催しています。

相談会では、2事業体から「既存社員と今後採用する中途社員の賃金体系について」「高卒人材の採用募集及び業務都合による始業・終業時間の変更等について」の相談があり、前者については、セミナー講師の笠木社会保険労務士から、後者については、昨年度のセミナーで講師をお願いした廣井特定社会保険労務士から対応いただきました。

相談に対する回答については、「個別相談」としての位置づけから公表することはできませんが、相談された事業体の方からは、「普段相談しづらい内容についても個別にゆっくり、また、親身になって対応いただき良かった」との感想



をいただきました。

当林業労働力確保支援センターでは、雇用管理改善相談会の開催のほか、林業就業支援地域アドバイザーを配置しアドバイザーが直接事業体を訪問して相談に応じる「巡回相談」も行っております。また、年間を通して電話・メール等による相談にも対応していますので、積極的な活用をお願いいたします。

